

進む！ICTの利活用 ~R4管内各校の1学期の実践から~



令和3年度は、北部管内の小・中・義務教育学校すべての児童・生徒一人一人にタブレット端末が整備された「GIGAスクール元年」でした。

令和4年度は、各学校の実態に応じたICTの活用に取り組んでいただいております。今回は、「教科等の特質に応じた効果的なICT活用による授業改善」について効果的な取組の一部を紹介いたします。

1 ICT活用推進モデル校の取組

令和4年度は、【高千穂町立高千穂小学校】と【日向市立日向中学校】が、県のICT活用推進モデル校の指定を受け、授業におけるICTの効果的な活用について研究を進めていただいています。今回は、1学期の各校の取組の一部について御紹介します。2学期には、授業公開も予定されています。研究の詳細は、是非授業公開を御覧ください。

【授業公開：日向中：11月21日(月)・高千穂小11月30日(水)】



【高千穂小学校】

①「職員研修」

ICT活用推進教員や研究主任と町のICT支援員と連携して研修を実施しています。効果的に活用した授業づくりだけでなく情報モラル教育にも取り組まれています。

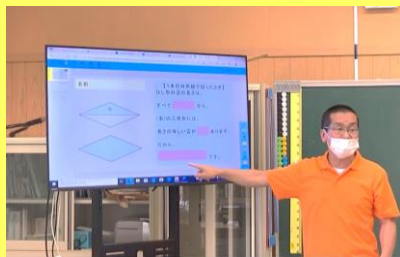
②「Microsoft Teamsを活用したネットワーク」

全職員がTeamsでネットワークを作り、効果的な活用法や教材を紹介したり、課題を共有できるツールとして活用したりしています。夏季休業中の職員研修(学力向上)では、全国学力・学習状況調査の解説書や報告書の掲載サイトを全職員で共有する等、今後の取組につながる環境整備にも役立てられています。

③「児童の活用の促進」

全ての学級で児童がタブレットを日常的に活用するだけでなく、児童同士が効果的な活用について相談し合いスキルを向上させています。

【職員研修】 ▶
実際に端末に触れながら学びます。ソフトのアップデート情報も共有します。



◀【授業のようす】
自分の活動の成果を、他の児童と共有し、学び合います。

【日向中学校】

①「各授業における実践」

全職員で、全国学力・学習状況調査の質問紙(ICTに関する項目)を意識した授業改善に取り組んでいます。
(例)《音楽》自分にあった方法(楽譜を見て1人でする、生徒同士で教え合う、動画を視聴する、先生に教えてもらう)でギターの課題曲の練習をする。《国語》生徒が創作した俳句を用いて句会を行う際に、各作品の得票数をMicrosoft Teamsで集計することで大幅に時間を短縮する。《理科》班ごとの実験で液体のpHを測定した結果を、Skymenuを使って全体で共有し考察につなげる。

②「生徒会活動や小中連携でもMicrosoft Teamsを活用」

主題研究ではもちろんのこと、日常的にICTの実践を共有するOJTの手段として使用しているほか、生徒会活動で利用したり、職員が校区内2つの小学校と情報を交換するツールとしても活用。生徒・職員にとって、もはやタブレットはなくてはならない存在となっています。

◀【授業のようす】
《理科》全体で共有するため、班での実験結果を入力。



▲【職員研修】
資料はタブレットで共有。



▲【授業のようす】《音楽》
自分に合った方法でギターの課題曲に取り組む。

2 管内の小・中・義務教育学校からの学び



ICTを効果的に活用することで、児童生徒の主体的な学びを促すだけでなく、先生方の授業づくりの課題解決にも役立てられると一層ICT活用の良さを実感できますね。今回は、複式指導や活動時間確保の工夫について御紹介します。

日之影町立高巣野小学校 複式算数「第5学年/小数の割り算」「第6学年/分数÷分数」

算数の複式指導において、ICTを効果的に用いた実践です。教室の両側に電子黒板を配置し、先生が説明する際に活用するのはもちろん、撮影や画面共有の機能を活用し児童を中心に話し合い活動を進めていました。児童が、自主的に課題解決に取り組んでいける取組です。

また、AIドリルと記述式の演習を適切に組み合わせ、間接指導や個別指導の充実に役立っています。



2台の電子黒板を用いた授業▲



ICTを活用したガイド学習▲



デジタル教科書での活動結果を共有するようす▲

日之影町立日之影小学校・第3・4学年・体育「マット運動」

体育での活動時間の確保を、課題にしている先生方も多いのではないのでしょうか。

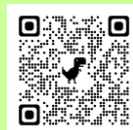
この授業では、PowerPointのスライド上で、マット運動の技の組み合わせを選択し、各自の練習につなげ、視覚的に確認できる工夫をしています。また、Microsoft Teams上のデータから、他者の技の組み合わせを参考にできます。その後、WEB上のタイムシフトカメラを使用し、自分の技を振り返る活動を取り入れています。映像を見ながら、児童間でアドバイスを行う姿もみられました。タイムシフトカメラは、試技の数秒後に、遅れて映像が表示されるため、タブレット等の操作も必要なく、運動量の確保に有効です。

スライド上で技の組み合わせを確認 ▶



◀タイムシフトカメラで自分の試技を確認

今回御紹介した事例だけでなく、北部事務所管内の学校ではICTのメリットを生かした教育活動がたくさん展開されています。よい取組を皆さんで共有して授業に取り入れていきたいですね。



県教育研修センター
のWebページ



StuDX Style
のWebページ